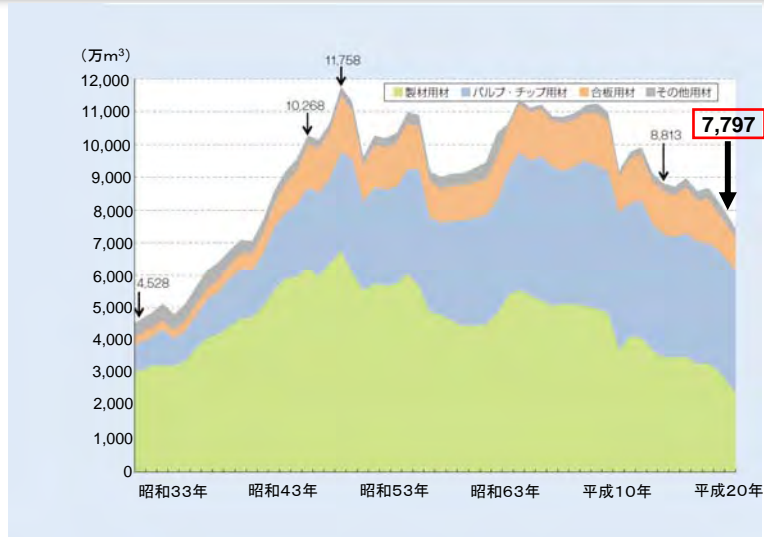


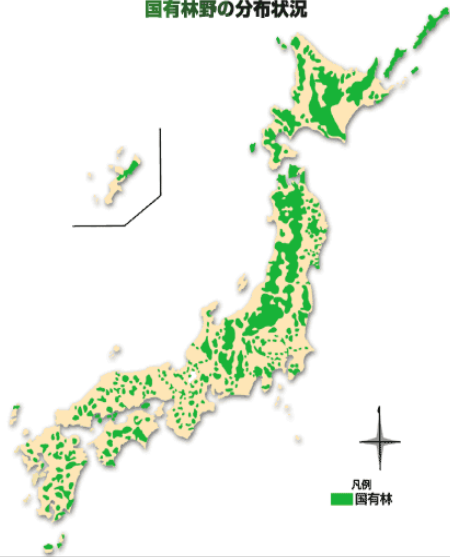
● 木材需要量の推移



木材需要量の推移

● 国有林とは

国有林野の分布状況



国有林(760万ha)の内訳



出典：林野庁「森林・林業白書 平成21年版」及び総務省統計(平成21年)

● 国有林の目標

● 目標

1. 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
2. 林産物の持続的かつ計画的な供給
3. 国有林野の活用による地域の産業の振興または住民の福祉の向上への寄与

基本方針に即した管理経営

1. 公益的機能の維持増進を旨とした管理経営
2. 森林の流域管理システムの下での管理経営
3. 国民の森林としての管理経営

● 森林計画の意義

無秩序な
森林の開発



森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因

無計画な伐採



森林資源を減少させ、林産物供給の面でも大きな混乱をきたすおそれ

森林の造成には超長期の年月を要する
国民経済に大きな影響

長期的な視点に立った
計画的かつ適切な森林の取扱いを
推進することが必要



森林計画の区域

●森林計画区域の設定

農林水産大臣が
都道府県知事の意見を聞き、
地勢その他の条件を勘案し、
主として流域別に都道府県の
区域を分けて定めている

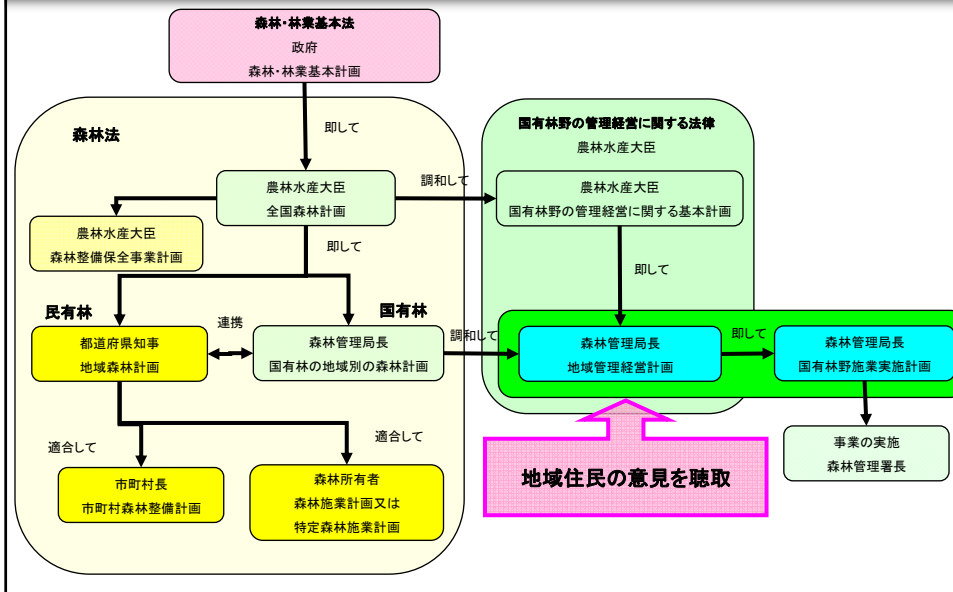
全国で158森林計画区を設定

うち東北森林管理局管内に
17森林計画区

東北森林管理局管内【17計画区】

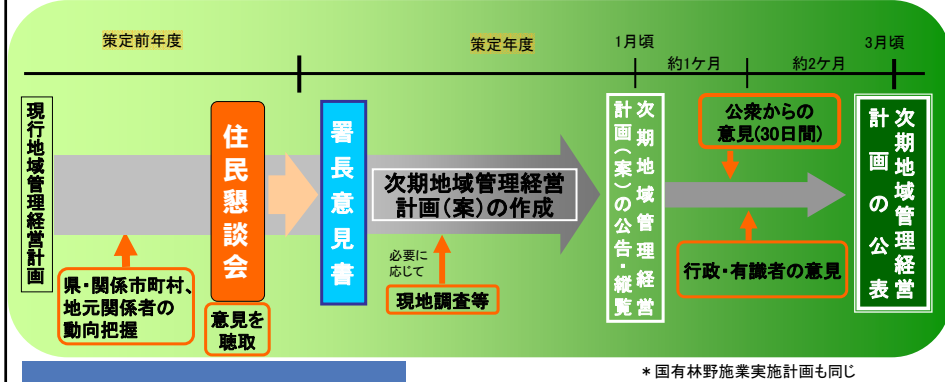


森林計画の体系



● 森林計画策定の仕組みと住民懇談会の位置付け

● 地域管理経営計画等策定のプロセス



● 住民懇談会の位置付け

地域管理経営計画等の計画策定手続き前に多様な関係者が一堂に会する場を設定

- ◆ さまざまな地域情報
- ◆ 多様な地域住民・関係者の意見を収集・反映

● 久慈・閉伊川森林計画区の特徴



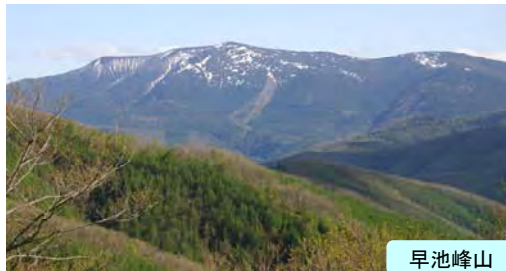
● **位置**: 岩手県の北東部に位置する久慈川・閉伊川流域

● **特徴**: 早池峰山森林生態系保護地域をはじめ、優れた景観を有する地域が多い

● 計画区内の国有林

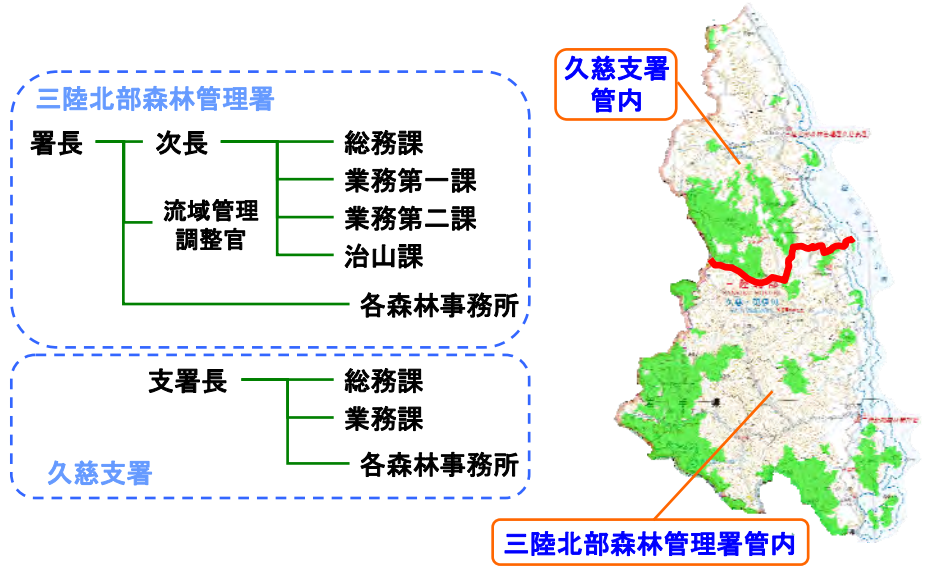
➢ 久慈川・閉伊川等の各支流の源流部等
＝三陸海岸北部地域の水源地帯
(水源かん養保安林が多い)

➢ 人工林率: 45% (カラマツ・アカマツが多い)



早池峰山

● 組織図

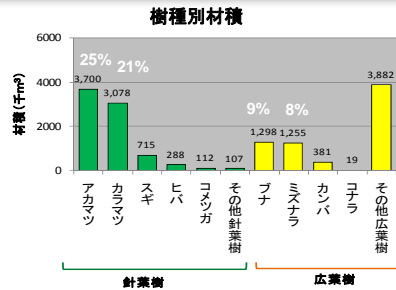
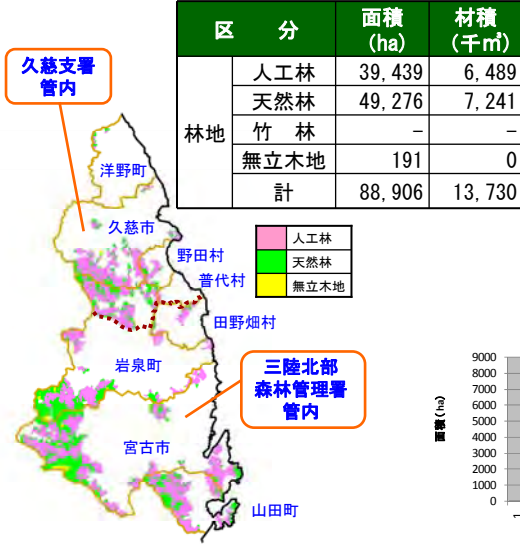


● 久慈・閉伊川森林計画区の特徴

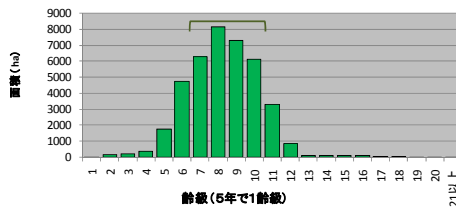
市町名	市町村面積	森林面積	うち国有林	森林率(%)	国有林率(%)	管轄(支)署
宮古市	125,989	115,055	32,406	91	28	三陸北部
久慈市	62,314	53,635	11,336	86	21	久慈
山田町	26,344	23,921	13,848	91	58	三陸北部
岩泉町	99,291	91,533	30,155	92	33	三陸北部・久慈
田野畑村	15,619	13,517	1,625	87	12	三陸北部
菅代村	6,966	6,026	273	87	5	久慈
洋野町	30,320	23,248	518	77	2	久慈
野田村	8,083	6,949	1,895	86	27	久慈
計	374,926	333,882	92,055	89	28	

森林資源の状況

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日



単層林年齢別配置
31~50年生で70%を占める



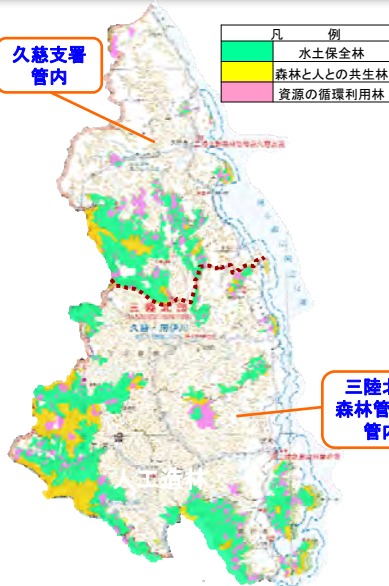
機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分し、それぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
<p>●目標とする森林の姿</p> <p>土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林</p> <p>●森林の取扱い</p> <p>樹根や表土の保全、下層植生の発達期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進</p> 	<p>●目標とする森林の姿</p> <p>原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林</p> <p>●森林の取扱い</p> <p>野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進</p> 	<p>●目標とする森林の姿</p> <p>環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林</p> <p>●森林の取扱い</p> <p>森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需要に応じた材木を育成するために適切な更新、保育および間伐を推進</p> 

機能類型ごとの面積と分布

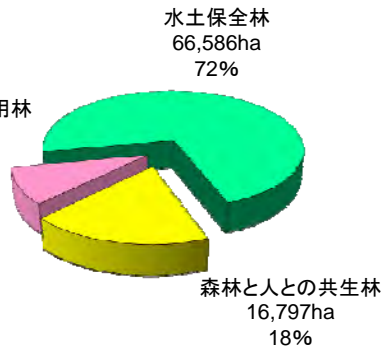
計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日



凡 例	
緑	水土保全林
黄	森林と人との共生林
粉	資源の循環利用林

- ①水土保全林
(国土保全タイプ・水源かん養タイプ)
- ②森林と人との共生林
(自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)
- ③資源の循環利用林

資源の循環利用林
8,672ha
9%

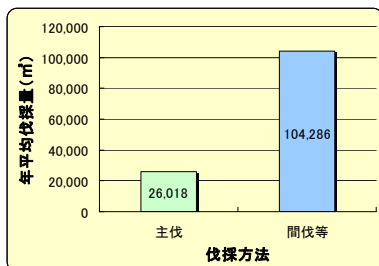


計画区の伐採量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●伐採量：	計画量	実績
	(H19～H23の平均値)	(H19～H22の平均値)※
主伐	26,018 m ³	27,265 m ³
間伐等	104,286 m ³	96,930 m ³
合計	130,304 m ³	124,195 m ³

※ 実績のうち平成22年度分は予定量で計算



高性能林業機械による間伐

● 計画区の造林量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●造林量：	計画量 (H19~H23)		実績 (H19~H22)	
	総量	年平均	総量	年平均
人工造林：	4 7 3 ha	9 5 ha	1 6 8 ha	4 2 ha
天然更新： (天然下種・ぼう芽)	8 3 ha	1 7 ha	2 8 ha	7 ha



人工造林



天然下種



ぼう芽

● 計画区のおの他の事業量

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●林道等建設延長	計画量 (H19~H23)		実績 (H19~H22)		●治山施設数量	計画量 (H19~H23)		実績 (H19~H22)	
	新規開設	改良	新規開設	改良		保安施設 (治山ダム等)	保安林整備	保安施設 (治山ダム等)	保安林整備
新規開設	22,250m		17,642m		保安施設 (治山ダム等)	27箇所	26箇所		
改良	0m		3,681m		保安林整備	828ha	1,076ha		



林道の開設



溪間工



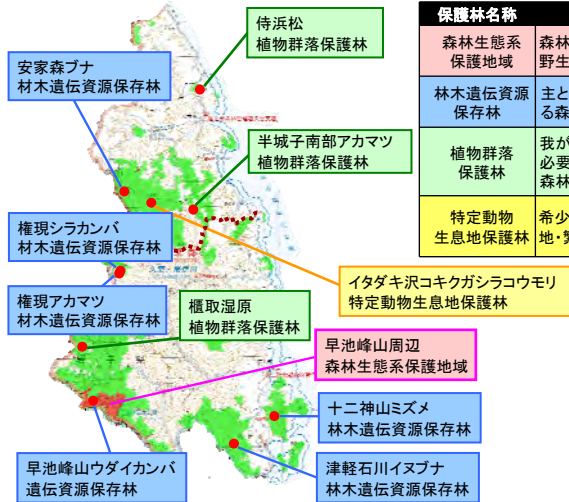
山腹の保全

管内の保護林

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に資することを目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、保護を図っている森林



保護林名称	特徴	箇所数	面積 (ha)
森林生態系保護地域	森林生態系・生物遺伝資源の保存、野生動植物の保護を図る森林	1	4,120
林木遺伝資源保存林	主として、林木の遺伝資源を保存する森林	6	82
植物群落保護林	我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落などを保護する森林	3	44
特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその生息地・繁殖地である森林	1	22



管内の緑の回廊

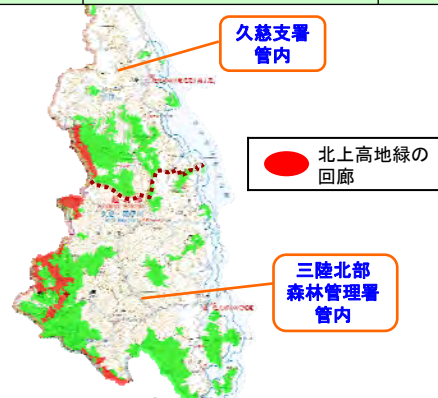
計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●緑の回廊

野生生物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促し、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図っている森林



名称	内容	面積(ha)	延長(km)
北上高地 緑の回廊	概ね北上高地の分水嶺沿いに、北は平鹿岳から南の毛無森山まで、早池峰山周辺、五葉山等の保護林を連結して、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、生物多様性の維持に資する	14,878	71



● 管内のレクリエーションの森

計画期間 平成19年4月 1日
平成24年3月31日

●レクリエーションの森
国民の保健・文化的利用を積極的、計画的に推進するための森林



名称	特徴	箇所数	面積(ha)
自然観察教育林	当該地方の自然を特色付け、小中学校の自然科学教育などに適した地域	1	83



十二神山自然観察休養林

● その他管内の特徴的な取り組み

「森林・林業講座」及び「国有林現場視察会」



森林・林業講座(H22.11.17)



国有林現場視察会(H22.10.19)

地域住民に対して森林・林業への理解と国有林の現場や業務を紹介しています。

● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

① 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

●地球温暖化防止対策も含めた事業量の増加、計画的な木材供給、民国連携した森林共同施業団地の設定等、林業再生に向け国有林が率先して取り組みます。



② 豊かな自然環境の保護管理

●当計画区には、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、またイヌワシ等の希少野生動植物が数多く生息していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その特性に応じた保全管理に努めます。



● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

③ 山地災害の防止と病虫害対策の徹底

●山地災害のおそれのある箇所には、適切な治山事業を計画し、下流域の安全・安心の確保に努めます。

また、当計画区に迫りつつある松くい虫等の被害について、さらなる日常の巡視強化による早期発見、拡大防止に民有林と連携し取り組みます。





次代に引き継ぐ国民参加の美しい森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁 東北森林管理局
三陸北部森林管理署・久慈支署